

# ゆいレール延長の必要性

## 交通渋滞の影響を受けない、公共交通サービスの充実が必要です。

那覇都市圏の道路の渋滞は、東京・大阪・名古屋の三大都市圏に次いで悪い状況であり、沖縄県の経済発展の妨げとなっています。そのため、那覇都心部での移動や県中北部とのアクセスについても、渋滞の影響を受けない公共交通の整備する必要があります。

また、自動車利用から公共交通利用への転換を促進し、交通渋滞を緩和させる必要があります。

## 地域の発展のためには、観光交通の魅力向上が必要です。

沖縄県への観光客数は年間600万人近くあり、増える傾向にあります。同様にレンタカーの台数も増加し、この10年で約3.4倍になっています。

パーソナリティ調査（交通実態調査）によると、観光客によるレンタカーの利用は那覇都心部と北部の海岸が多く、この観光客にとっても魅力的な交通手段として、ゆいレールを沖縄自動車道まで延長し、相互に利用しやすいように結節させることが求められています。



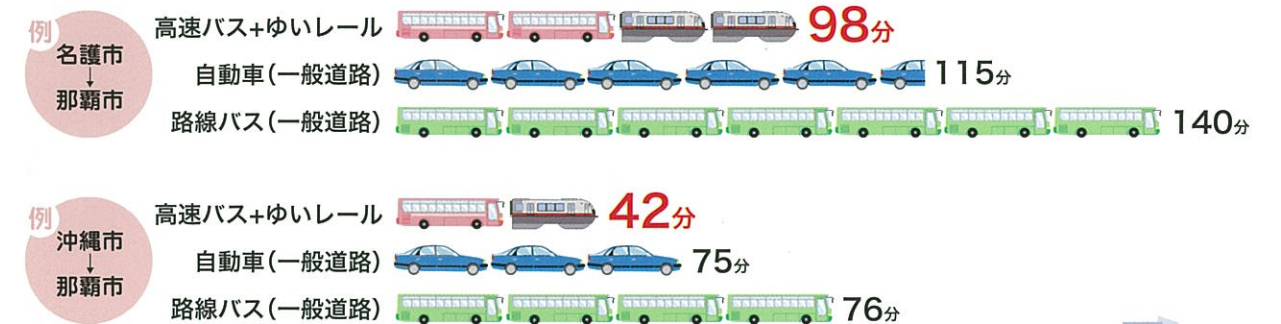
## 地球に優しく持続可能な交通の整備が求められています。

地球温暖化防止を目指し温室効果ガスの削減が叫ばれていますが、昨今では交通の分野でもこれに対応するものとして、持続可能な交通の整備が求められています。この持続可能な交通は、環境面だけでなく、安全便利で快適な交通サービスが効率的に提供され、経済的にも持続が可能です。また、一定水準の交通サービスが、住んでいる場所に関係なく、高齢者・障がい者・子どもたちまで全ての人に確保されているという社会的な面も併せ持つ、人にもやさしい交通のことです。

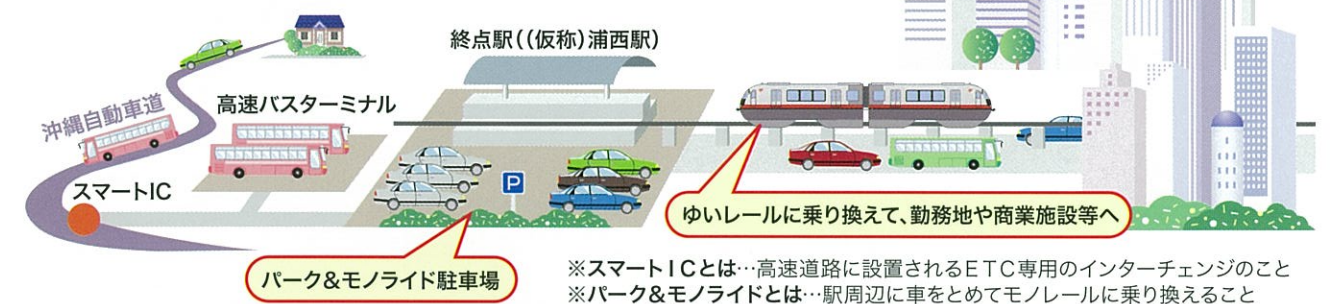
# ゆいレール延長の効果

## 高速バスとゆいレールで中北部の方々の移動時間も短縮できます。

ゆいレール沿線の方はもちろん、高速バスとゆいレールを効果的に利用することで、中北部の方々の移動の時間も短縮され時間を有効に活用できるようになります。



<例>パーク&モノライド駐車場の整備



## まちづくりの推進が期待されるとともに、新たな観光回遊ルートが地域の発展に寄与し、沖縄観光の魅力も向上します。

ゆいレールの延長部沿線では開発が進められていますが、ゆいレールが開通することで沿線の利便性が更に向上し、まちづくりが推進されることが期待されます。

また、観光客が利用しやすいようにゆいレールを沖縄自動車道まで延長することで、観光客のゆいレールの利用が期待されます。これにより新たな観光回遊ルートができ、地域の発展に寄与するとともに、地域の新たな発展が沖縄観光の魅力の向上につながることを期待されます。

## 人にやさしく、地球環境にもやさしい。地球温暖化の抑制にも寄与します。

ゆいレールの駅には、エレベーターやエスカレーターが設置され、高齢者・障がい者・子どもたちまで、安全で快適な交通サービスが提供されます。

自動車利用からゆいレール利用に転換することにより、自動車のCO<sub>2</sub>排出量が削減されます。その削減量は、奥武山公園のおよそ50個分※の面積の森林が1年間に吸収する量に相当します。

※国土交通省 低炭素都市づくりガイドライン(案)より「全域で間伐更新や補植などの管理が行われていない場合」のCO<sub>2</sub>の吸収係数を使用し試算した。